

介護老人保健施設 ライフサポートひなた

前田恵美子/通所リハ看護師

功 績 通所利用者にフットケアを実施するために、自己啓発としてフットケアの認定試験に合格し、かつその知識技術の提供によって、利用者のADL改善にまで寄与した功績。

推 薦 者 黒川良輔 リハビリテーション部

推 薦 理 由 ご利用者の状態を良くしたいという看護師としての思いと、専門職として必要な自己研鑽、さらにその知識と技術を提供し、ご家族が家庭でもケアできるような働きかけをしたことで、ご利用者のADLの改善に繋がったため。

内 容

通所ご利用者の多くに、足部の爪や皮膚疾患があり、肥厚した爪や傷などによって、靴を履くことが痛くて困難になったり、足裏の感覚が鈍くなり転倒につながるケースがみられている。その現状に通所リハの前田看護師は、知識技術を習得するために、自己啓発でフットケアの認定資格を取ることを決意し、講義の受講から認定試験に至るまで約半年かけて勉学に励んでいた。

試験では、10症例の実践報告が必要とされ、入所ご利用者・通所ご利用者に許可をもらいながら、実践を積んでいた。試験は無事に合格し、その知識技術を通所の利用者に提供できるようになった。

ある通所ご利用者（80代要介護1）は足の爪が肥厚し、痛みによって歩行にふらつきがあった。前田看護師がご家族の許可を得ながら、フットケアを実施し、肥厚をなくすようにし、巻き爪に対しては、テーピングで食い込まないように実施。その方法を写真に撮り、説明書きを加え、資料としてご家族に提供することで、家庭でもご家族ができるようにすることを目標にケアにあたっている。

結果的に当ご利用者は、足の痛みが消失し、歩行のふらつきもなくなり、歩行自立することができた。

ご家族との散歩する時間が増えたことに貢献した他、ADL自立度の向上に貢献することができたため、理事長賞に推薦する。